

## FIP 制度を活用した再エネアグリゲーション事業の開始について

[Valhall 合同会社](#)（本社：東京都渋谷区、社長：セーアン・エーヤースベク・イェンスン 以下「Valhall」）は、[オリックス株式会社](#)（本社：東京都港区、社長：井上 亮、以下「オリックス」）の FIP 発電所のバランス業務受託を通じて、2023 年 6 月 1 日より Feed-in Premium（以下、「FIP」）制度(\*1)を活用した再エネアグリゲーション事業(\*2)（以下、「本事業」）を本格開始しました。

本事業でオリックスは、FIT 制度下にて運営している、四日市市、多治見市、および小牧市の各太陽光発電所（合計認定出力：1,410 kW）を FIP 制度適用へ転換し、Valhall と締結する電力供給契約（PPA 契約）のもと、当該発電所の発電量を全量 Valhall に販売します。Valhall は各発電所の計画提出業務や、インバランリスクのマネジメントなど、FIP 制度下で新たに発生する追加リスクを引き受けます。

FIP 制度下では、基準価格（FIP 価格）から、市場取引等により期待される収入（参照価格）を差し引いた額が、プレミアム（供給促進交付金）単価となり、それに再エネ電気供給量を乗じた額を基礎として、1 ヶ月毎に決定される形となります。

この参照価格は、発電量を単純に全量市場取引した際に実際に得られる収入と必ず等しくなるものではないため、FIT 発電所を、FIP 制度に転換する場合、効率的な市場取引によって、参照価格を下回ることのない経済性を目指すことが非常に重要となります。

Valhall はデンマークに本部を置き、世界中の電力市場を対象としたアルゴリズム取引などを専門とする [Yggdrasil ApS](#) の日本法人です。現在、欧州各国、米国、日本など世界各国で横断的に超短期の電力トレーディングを展開しています。

本事業で Valhall は、再エネ導入が先行する世界各国で得た短期のトレーディング、リスク管理のノウハウを生かし、日本の FIP 制度下でも経済性を損なわない効率的な市場取引を行う考えです。

Valhall は、FIP 制度のもとでの再エネアグリゲーションを通じ、日本における今後の再生可能エネルギー普及拡大に貢献してまいります。

\*1: Feed in Premium の略称

\*2: 再エネ発電事業者に代わって発電所を束ねて発電バランス業務の代行を担い、市場取引等を代行する事業